

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 共通科目

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。
共通科目	特殊講義 （アカデミック・ライティングの方法と実践）	LG-AD5-001L	2	1・2	選択			◎	○
	特殊講義 （留学生のためのアカデミック・ライティングⅠ基礎編）	LG-AD5-001L	2	1・2	選択			◎	○
	特殊講義 （留学生のためのアカデミック・ライティングⅡ実践編）	LG-AD5-001L	2	1・2	選択			◎	○
	総合講座	LG-IF5-001L	2	1・2	選択	△	○		
	インターンシップ （博物館実務研修）	LG-TR5-001P	2	1・2	選択	◎			○
	インターンシップ （美術館実務研修）	LG-TR5-001P	2	1・2	選択	◎			○
	インターンシップ （アーキビスト実務研修）	LG-TR5-001P	2	1・2	選択	◎			○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 国文学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 国文学:日本文学・日本語学・漢文学・日本文化に関する幅広い知識を教育実践に活かしたり、実社会における円滑な人間関係の構築に役立てたりすることができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 国文学:蓄積した幅広い知識と具体的な事象に即した思考方法とによって獲得できた日本についての深い認識によって、日本文化とその歴史を相対化し、その特質と魅力を国際社会と地域社会に向けてアピールできる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 国文学:日本文学・日本語学・漢文学・日本文化に関して丁寧かつ批判的に読解・分析する修練を通じて獲得した語彙力や思考力によって、研究史をふまえた上で自らの研究を構想し、読解・分析・考察したことを他者にわかるように合理的かつ説得的に論述することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 国文学:深めた知見を学内外の学会で発表し、研究成果を社会に発信できる。また、学修で得た日本文学・日本語学・漢文学・日本文化に関する幅広い知識と独自の知見を、自らの得意とする方法で社会に発信・還元することができる。
専攻設置科目	上代文学研究 A	LG-JL5-101L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	上代文学研究B	LG-JL5-102L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	中古文学研究 A	LG-JL5-103L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	中古文学研究 B	LG-JL5-104L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	中世文学研究 A	LG-JL5-105L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	中世文学研究 B	LG-JL5-106L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	近世文学研究 A	LG-JL5-107L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	近世文学研究 B	LG-JL5-108L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	近代文学研究 A	LG-JL5-109L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	近代文学研究 B	LG-JL5-110L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	現代文学研究 A	LG-JL5-111L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	現代文学研究 B	LG-JL5-112L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	日本漢文学研究 A	LG-JL5-113L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	日本漢文学研究 B	LG-JL5-114L	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	国語学研究 A	LG-JA5-101L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	国語学研究 B	LG-JA5-102L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	国語史研究 A	LG-JA5-103L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	国語史研究 B	LG-JA5-104L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	書誌学	LG-JL5-115L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	浮世絵学	LG-JC5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	映像文化史	LG-JC5-102L	2	1・2	選択	○	◎	○	○
	マンガ論	LG-JC5-103L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	国語科教育研究 A	LG-JN5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	国語科教育研究 B	LG-JN5-102L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	古文教材研究	LG-JN5-103L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	漢文教材研究	LG-JN5-104L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	現代文教材研究	LG-JN5-105L	2	1・2	選択	◎	◎	○	◎
	国文法	LG-JA5-105L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 英文学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するの、か、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 英文学:高度な英語力と英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語科学・英語教育学に関する知識を背景に、実社会における問題解決に向けて、着実に取り組むことができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 英文学:高度な英語力と英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語科学・英語教育学に関する知識を背景に、国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を、グローバルに共有することができる。自分と他者のもつ文化や言語を広く深く豊かに認識できる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 英文学:高度な英語力と共に身につけた言語理解力と言語分析力、および、英語圏文学・英語圏文化・英語学・言語科学・英語教育学の研究を通して磨いた論理的思考と合理的説得力を基盤に、他者の考えとその背景にある主張を理解し、自分の考えを明確に説明することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 英文学:高度な英語力を活かして、自己の研究成果を学会発表や合同研究会を通じて積極的に発信し、国内外の学生や研究者に問うことができる。
専攻設置科目	英文学研究（演劇）A	LG-EX5-101L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（演劇）B	LG-EX5-102L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（現代小説）A	LG-EX5-103L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（現代小説）B	LG-EX5-104L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（近代小説）A	LG-EX5-105L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（近代小説）B	LG-EX5-106L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（詩）A	LG-EX5-107L	2	1・2	選択		◎	○	
	英文学研究（詩）B	LG-EX5-108L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語圏文学研究 A	LG-EX5-109L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語圏文学研究 B	LG-EX5-110L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（近代）A	LG-EX5-111L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（近代）B	LG-EX5-112L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅰ）A	LG-EX5-113L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅰ）B	LG-EX5-114L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅱ）A	LG-EX5-115L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅱ）B	LG-EX5-116L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅲ）A	LG-EX5-117L	2	1・2	選択		◎	○	
	米文学研究（現代Ⅲ）B	LG-EX5-118L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（意味論・語用論）A	LG-EX5-119L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（意味論・語用論）B	LG-EX5-120L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（形態論・統語論）A	LG-EX5-121L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（形態論・統語論）B	LG-EX5-122L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（音声学・音韻論）A	LG-EX5-123L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（音声学・音韻論）B	LG-EX5-124L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（言語習得論）A	LG-EX5-125L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（言語習得論）B	LG-EX5-126L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（社会言語学）A	LG-EX5-127L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（社会言語学）B	LG-EX5-128L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（心理言語学）A	LG-EX5-129L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（心理言語学）B	LG-EX5-130L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（英語史）A	LG-EX5-131L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語学研究（英語史）B	LG-EX5-132L	2	1・2	選択		◎	○	
	英語教育研究Ⅰ A	LG-FL5-101L	2	1・2	選択	◎	△	○	
	英語教育研究Ⅰ B	LG-FL5-102L	2	1・2	選択	◎	△	○	
	英語教育研究Ⅱ A	LG-FL5-103L	2	1・2	選択	◎	△	○	
	英語教育研究Ⅱ B	LG-FL5-104L	2	1・2	選択	◎	△	○	
	英語教育のための文学文化研究Ⅰ A	LG-FL5-105L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語教育のための文学文化研究Ⅰ B	LG-FL5-106L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語教育のための文学文化研究Ⅱ A	LG-FL5-107L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語教育のための文学文化研究Ⅱ B	LG-FL5-108L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語教育のための言語科学研究A	LG-FL5-109L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語教育のための言語科学研究B	LG-FL5-110L	2	1・2	選択	◎	○		
	英語表現演習Ⅰ	LG-FL5-111S	2	1・2	選択	△		◎	○
	英語表現演習Ⅱ	LG-FL5-112S	2	1・2	選択	△		◎	○
	英語学術発表演習Ⅰ	LG-EX5-133S	2	1・2	選択	△		○	◎
	英語学術発表演習Ⅱ	LG-EX5-134S	2	1・2	選択	△		○	◎

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 独文学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 独文学:ドイツ語圏の語学・言語学・文学・文化・歴史・社会等に関し、自分の研究対象とした分野について問題の発見を行い、それに対して独自の見解を実証的・論理的な解法で提示できる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 独文学:ドイツ語圏諸国の対象分野を研究する方法論と分析手法を修得し、論理的思考の結果として導かれる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 独文学:自己の研究成果をドイツ語圏諸国と日本の学会等で発表し、ドイツ語と日本語の著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。
専攻設置科目	ドイツ文学演習 A	LG-LT5-101S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ文学演習B	LG-LT5-102S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ語学・教授法演習 A	LG-LG5-101S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ語学・教授法演習 B	LG-LG5-102S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ文化演習 A	LG-DT5-101S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ文化演習 B	LG-DT5-102S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ芸術論演習 A	LG-DT5-103S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ芸術論演習 B	LG-DT5-104S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ社会誌演習 A	LG-DT5-105S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ社会誌演習 B	LG-DT5-106S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	比較文学・比較文化演習 A	LG-DT5-107S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	比較文学・比較文化演習 B	LG-DT5-108S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	学術ドイツ語・研究法演習 A	LG-LG5-103S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	学術ドイツ語・研究法演習 B	LG-LG5-104S	2	1・2	選択	○	○	◎	○
	ドイツ文化論研究 A	LG-DT5-109S	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	ドイツ文化論研究 B	LG-DT5-110S	2	1・2	選択	○	◎	○	◎

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 仏文学専攻文学文化コース

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 仏文学:フランス語の体系的な理解に基づいて、実践的なフランス語運用能力を身につけるとともに、その能力を実社会で活用することができる。 西洋美術史の専門的な知識を身につけ、美術館あるいは美術関連業務での実践的な活動に結びつけることができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 仏文学:フランス語圏文学やフランスを中心とする美術史を理解するとともに、その背景にある思想や文化、社会に関する深い知識を有し、その知識を実社会において活用することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 仏文学:フランス語圏文学やフランスを中心とする美術史を研究するための専門的な視点や手法を修得したうえで、自らの問題意識に基づくテーマを設定し、精密な資料批評に基づく実証的な方法を通じて分析・考察を行い、独自の見解を説得的に提示することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 仏文学:学内の研究発表会を通して、自らの研究成果を論理的に示し、他者の質問や批評に適切に応答することができる。
専攻設置科目	フランス古典啓蒙文学演習 A	LG-LT5-301S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス古典啓蒙文学演習 B	LG-LT5-302S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代文学演習 A	LG-LT5-303S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代文学演習 B	LG-LT5-304S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス現代文学演習 A	LG-LT5-305S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス現代文学演習 B	LG-LT5-306S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス詩演習 A	LG-LT5-307S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス詩演習 B	LG-LT5-308S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス演劇・映画演習 A	LG-WL5-101S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス演劇・映画演習 B	LG-WL5-102S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス言語思想演習 A	LG-WL5-103S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス言語思想演習 B	LG-WL5-104S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス文化・社会史演習 A	LG-WL5-105S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス文化・社会史演習 B	LG-WL5-106S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代美術史演習 A	LG-HR5-101S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代美術史演習 B	LG-HR5-102S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 仏文学専攻美術史コース

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 仏文学:フランス語の体系的な理解に基づいて、実践的なフランス語運用能力を身につけるとともに、その能力を実社会で活用することができる。 西洋美術史の専門的な知識を身につけ、美術館あるいは美術関連業務での実践的な活動に結びつけることができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 仏文学:フランス語圏文学やフランスを中心とする美術史を理解するとともに、その背景にある思想や文化、社会に関する深い知識を有し、その知識を実社会において活用することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 仏文学:フランス語圏文学やフランスを中心とする美術史を研究するための専門的な視点や手法を修得したうえで、自らの問題意識に基づくテーマを設定し、精密な資料批評に基づく実証的な方法を通じて分析・考察を行い、独自の見解を説得的に提示することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 仏文学:学内の研究発表会を通して、自らの研究成果を論理的に示し、他者の質問や批評に適切に応答することができる。
必修科目	フランス近代美術史演習 A	LG-HR5-101S	2	1・2	必修	◎	◎	○	○
	フランス近代美術史演習 B	LG-HR5-102S	2	1・2	必修	◎	◎	○	○
選択科目	フランス古典啓蒙文学演習 A	LG-LT5-301S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス古典啓蒙文学演習 B	LG-LT5-302S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代文学演習 A	LG-LT5-303S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス近代文学演習 B	LG-LT5-304S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス現代文学演習 A	LG-LT5-305S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス現代文学演習 B	LG-LT5-306S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス詩演習 A	LG-LT5-307S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス詩演習 B	LG-LT5-308S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス演劇・映画演習 A	LG-WL5-101S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス演劇・映画演習 B	LG-WL5-102S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス言語思想演習 A	LG-WL5-103S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス言語思想演習 B	LG-WL5-104S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス文化・社会史演習 A	LG-WL5-105S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	フランス文化・社会史演習 B	LG-WL5-106S	2	1・2	選択	◎	◎	○	○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 中国言語文化専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するの、か、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 中国言語文化:日本語および中国語を使って専門分野の文献資料を正確に読み取り、自分の研究課題に対して広い視野から主体的な学びができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 中国言語文化:中国言語文化：専門分野の研究方法に関する基本的な知識を修得するとともに、漢字を紐帯とする東アジアの多様な文化を理解し、学識を広げることができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 中国言語文化:原典資料等を用いて仮説を検証する能力を身につけ、学問的課題に関する思考プロセスを明確にし、論理的に筋道を立てて考えていくことができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 中国言語文化:自己の調査結果や研究成果を口頭や文章によって効果的に伝える技術を修得し、発信することができる。
専攻設置科目	中国現代文学演習 A	LG-LT5-501S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国現代文学演習 B	LG-LT5-502S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国古典文学演習 A	LG-LT5-503S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国古典文学演習 B	LG-LT5-504S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国思想文化演習 A	LG-CC5-101S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国思想文化演習 B	LG-CC5-102S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	日中比較文化演習 A	LG-CC5-103S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	日中比較文化演習 B	LG-CC5-104S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国語現代文法演習 A	LG-LG5-301S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国語現代文法演習 B	LG-LG5-302S	2	1・2	選択	△	○	◎	
	中国語語彙論演習 A	LG-LG5-303S	2	1・2	選択	○	◎	△	
	中国語語彙論演習 B	LG-LG5-304S	2	1・2	選択	○	◎	△	
	中国語表現演習 A	LG-CC5-105S	2	1・2	選択	○	△		◎
	中国語表現演習 B	LG-CC5-106S	2	1・2	選択	○	△		◎
	中国語翻訳演習 A	LG-CC5-107S	2	1・2	選択	◎	△		○
	中国語翻訳演習 B	LG-CC5-108S	2	1・2	選択	◎	△		○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 日本史学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するの、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリング コード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 日本史学:学内外の研究会や史料調査活動等への積極的な参加を通じて、自らの研究テーマを掘り下げることができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 日本史学:日本史学・考古学を主とする幅広い知識と専門的な学力をもち、歴史的な視点で社会をとらえることができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 日本史学:着実な手法で史料（資料）から情報を読み取り、先行研究との違いを十分に意識しながら歴史を叙述することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 日本史学:様々な学会に参加して研究発表を行い、研究成果を論文にまとめて主張することができる。
専攻設置科目	日本古代史演習Ⅰ A	LG-JH5-101S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本古代史演習Ⅰ B	LG-JH5-102S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本古代史演習Ⅱ A	LG-JH5-103S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本古代史演習Ⅱ B	LG-JH5-104S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本古代史演習Ⅲ A	LG-JH5-125S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本古代史演習Ⅲ B	LG-JH5-126S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅰ A	LG-JH5-105S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅰ B	LG-JH5-106S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅱ A	LG-JH5-107S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅱ B	LG-JH5-108S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅲ A	LG-JH5-109S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本中世史演習Ⅲ B	LG-JH5-110S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近世史演習Ⅰ A	LG-JH5-111S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近世史演習Ⅰ B	LG-JH5-112S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近世史演習Ⅱ A	LG-JH5-113S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近世史演習Ⅱ B	LG-JH5-114S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近代史演習Ⅰ A	LG-JH5-115S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近代史演習Ⅰ B	LG-JH5-116S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近代史演習Ⅱ A	LG-JH5-117S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本近代史演習Ⅱ B	LG-JH5-118S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅰ A	LG-JH5-119S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅰ B	LG-JH5-120S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅱ A	LG-JH5-121S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅱ B	LG-JH5-122S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅲ A	LG-JH5-123S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本政治史演習Ⅲ B	LG-JH5-124S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本考古学演習 A	LG-AR5-101S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本考古学演習 B	LG-AR5-102S	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	記録史料科学研究 A	LG-PL5-101L	2	1・2	選択	○	○	○	
	記録史料科学研究 B	LG-PL5-102L	2	1・2	選択	○	○	○	
	史料管理学研究	LG-PL5-103L	4	1・2	選択	○	○	○	
	考古学研究A	LG-AR5-103L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	考古学研究B	LG-AR5-104L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	歴史教育研究Ⅰ	LG-HT5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	歴史教育研究Ⅱ	LG-HT5-102L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅰ	LG-HT5-103L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅱ	LG-HT5-104L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 東洋史学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 東洋史学:アジア・アフリカの原典史料の解釈力および歴史的な視点に立った思考力を背景に、自己の専門分野や社会の諸問題を解決することができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 東洋史学:現代世界に貢献できるアジア・アフリカに関する知識や情報を有し、日本社会とアジア・アフリカの歴史・文化を関連づけて学ぶことで、自己の専門分野および関連諸領域を深く認識できる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 東洋史学:アジア・アフリカに関する研究対象と真摯に向き合い、独自の論理を構築し、自己の考えや理論を的確に論述・説明することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 東洋史学:アジア・アフリカに関する自己の研究成果を学会等で発表し、論文等を通じて的確に発信し、幅広く社会に問いかけていくことができる。
専攻設置科目	中国古代史特講 A	LG-OH5-101L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国古代史特講 B	LG-OH5-102L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国古代史演習 A	LG-OH5-103L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国古代史演習 B	LG-OH5-104L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国中世史特講 A	LG-OH5-105L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国中世史特講 B	LG-OH5-106L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国中世史演習 A	LG-OH5-107L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国中世史演習 B	LG-OH5-108L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国近世史特講 A	LG-OH5-109L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国近世史特講 B	LG-OH5-110L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国近世史演習 A	LG-OH5-111L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国近世史演習 B	LG-OH5-112L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国近代史特講 A	LG-OH5-113L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国近代史特講 B	LG-OH5-114L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中国近代史演習 A	LG-OH5-115L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中国近代史演習 B	LG-OH5-116L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中央ユーラシア史特講 A	LG-OH5-117L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中央ユーラシア史特講 B	LG-OH5-118L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	中央ユーラシア史演習 A	LG-OH5-119L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	中央ユーラシア史演習 B	LG-OH5-120L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	イスラーム史特講 A	LG-OH5-121L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	イスラーム史特講 B	LG-OH5-122L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	イスラーム史演習 A	LG-OH5-123L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	イスラーム史演習 B	LG-OH5-124L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	東南アジア史特講A	LG-OH5-125L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	東南アジア史特講B	LG-OH5-126L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	東南アジア史演習A	LG-OH5-127L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	東南アジア史演習B	LG-OH5-128L	2	1	選択	◎	○	◎	◎
	東洋文化特講 A	LG-OH5-129L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	東洋文化特講 B	LG-OH5-130L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	歴史教育研究Ⅰ	LG-HT5-101L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	歴史教育研究Ⅱ	LG-HT5-102L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅰ	LG-HT5-103L	2	1	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅱ	LG-HT5-104L	2	1	選択	◎	◎	○	△

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 西洋史学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するの、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 西洋史学:豊かな市民生活に不可欠な、生涯にわたる学びの礎を築くことができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 西洋史学:世界の複数の地域と時代の多種多様な人々の生き方を、それぞれの史料と論理的方法論を用いて分析することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 西洋史学:厳格な史料読解と分析に基づいて、各自がテーマとする事象を客観的に再構成することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 西洋史学:知的好奇心とクリティカルな思考に基づいて、行動することができる。
専攻設置科目	西洋古代史演習ⅠA	LG-WH5-101S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋古代史演習ⅠB	LG-WH5-102S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋古代史演習ⅡA	LG-WH5-103S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋古代史演習ⅡB	LG-WH5-104S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋古代史演習ⅢA	LG-WH5-105S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋古代史演習ⅢB	LG-WH5-106S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋中世史演習ⅠA	LG-WH5-107S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋中世史演習ⅠB	LG-WH5-108S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋中世史演習ⅡA	LG-WH5-109S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋中世史演習ⅡB	LG-WH5-110S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近世史演習ⅠA	LG-WH5-111S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近世史演習ⅠB	LG-WH5-112S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近世史演習ⅡA	LG-WH5-113S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近世史演習ⅡB	LG-WH5-114S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近代史演習ⅠA	LG-WH5-115S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近代史演習ⅠB	LG-WH5-116S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近代史演習ⅡA	LG-WH5-117S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋近代史演習ⅡB	LG-WH5-118S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋現代史演習A	LG-WH5-119S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋現代史演習B	LG-WH5-120S	2	1・2	選択	○	◎	◎	△
	西洋史基礎演習ⅠA	LG-WH5-121S	2	1・2	選択	◎	○	△	◎
	西洋史基礎演習ⅠB	LG-WH5-122S	2	1・2	選択	◎	○	△	◎
	西洋史基礎演習ⅡA	LG-WH5-123S	2	1・2	選択	◎	○	△	◎
	西洋史基礎演習ⅡB	LG-WH5-124S	2	1・2	選択	◎	○	△	◎
	歴史教育研究Ⅰ	LG-HT5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	歴史教育研究Ⅱ	LG-HT5-102L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅰ	LG-HT5-103L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△
	史料教材研究Ⅱ	LG-HT5-104L	2	1・2	選択	◎	◎	○	△

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 哲学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 哲学:広く豊かな哲学・思想的な学識にもとづき、人間存在に根ざす普遍的・根本的課題と現代社会が抱える現実問題を相補的に理解し解決していくことができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 哲学:広く日本・中国・西洋における古今の知的教養を主体的に学修することによって、世界の文化の多様性をその根源から柔軟に理解することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 哲学:高度な論理性に裏打ちされた思考能力を習得することにより、異なった思考回路や価値観に対しても開かれた柔軟な論理的思考と、説得力に富んだ表現力を形成することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 哲学:学術的な研究成果を専門学会等で継続的に発表し続けると同時に、その研究成果が広く社会に受容され積極的な影響を与えられるような一般的な仕方でも発信していくことができる。
専攻設置科目	西洋古代中世哲学研究Ⅰ A	LG-WP5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋古代中世哲学研究Ⅰ B	LG-WP5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋古代中世哲学研究Ⅱ A	LG-WP5-103L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋古代中世哲学研究Ⅱ B	LG-WP5-104L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋近世哲学研究Ⅰ A	LG-WP5-105L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	西洋近世哲学研究Ⅰ B	LG-WP5-106L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	西洋近世哲学研究Ⅱ A	LG-WP5-107L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	西洋近世哲学研究Ⅱ B	LG-WP5-108L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	西洋近代哲学研究Ⅰ A	LG-WP5-109L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋近代哲学研究Ⅰ B	LG-WP5-110L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋近代哲学研究Ⅱ A	LG-WP5-111L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋近代哲学研究Ⅱ B	LG-WP5-112L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋現代哲学研究Ⅰ A	LG-WP5-113L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋現代哲学研究Ⅰ B	LG-WP5-114L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋現代哲学研究Ⅱ A	LG-WP5-115L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	西洋現代哲学研究Ⅱ B	LG-WP5-116L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	中国哲学研究Ⅰ A	LG-EP5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	中国哲学研究Ⅰ B	LG-EP5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	中国哲学研究Ⅱ A	LG-EP5-103L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	中国哲学研究Ⅱ B	LG-EP5-104L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	日本倫理思想研究Ⅰ A	LG-PE5-101L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	日本倫理思想研究Ⅰ B	LG-PE5-102L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	日本倫理思想研究Ⅱ A	LG-PE5-103L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	日本倫理思想研究Ⅱ B	LG-PE5-104L	2	1・2	選択	○	◎	○	◎
	日本倫理思想研究Ⅰ A	LG-PE5-101L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	日本倫理思想研究Ⅰ B	LG-PE5-102L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	科学哲学 A	LG-WP5-117L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	科学哲学 B	LG-WP5-118L	2	1・2	選択	◎	○	◎	○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 社会学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 社会学:調査研究にて培った学識、調査力、構想力をもとに、専門研究領域において貢献するとともに新しい社会を構想する力を持つ。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 社会学:グローバルな視点と臨牀的な視点の複眼的思考のもと、現代社会並びにその過去と未来の姿を見通し、多様な社会のあり方を論ずることができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 社会学:帰納的ならびに演繹的な方法を用いて理論構築が出来、かつ様々な理論レベルで議論し、かつ記述や説明ができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 社会学:書籍、論文、研究発表において、自己の議論や研究上の発見が他者によって明確に理解されるように、提示できる。
必修科目	社会学理論特講（古典）	LG-SC5-101L	2	1	必修		◎		
	社会学理論特講（現代）	LG-SC5-102L	2	1	必修		◎		
	質的社会調査特講	LG-SC5-103L	2	1	必修	○		◎	
	量的社会調査特講	LG-SC5-104L	2	1	必修	○		◎	
	社会構想論特講	LG-SC5-105L	2	1	必修	◎	○		
	社会学ライティング特講	LG-SC5-106L	2	1	必修			○	◎
選択必修科目	社会学プロジェクト演習（グローバル）ⅠA	LG-SC5-107S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（グローバル）ⅡA	LG-SC5-108S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（グローバル）ⅠB	LG-SC5-109S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（グローバル）ⅡB	LG-SC5-110S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅢA	LG-SC5-111S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅣA	LG-SC5-112S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅢB	LG-SC5-113S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（ヴィジョナリー）ⅣB	LG-SC5-114S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅤA	LG-SC5-115S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅥA	LG-SC5-116S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅤB	LG-SC5-117S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会学プロジェクト演習（クリニカル）ⅥB	LG-SC5-118S	2	1・2	選択必修		△	◎	○
	社会運動論特講	LG-SC5-119L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	社会変動論特講	LG-SC5-120L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	グローバリゼーション論特講	LG-SC5-121L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	東アジア社会論特講	LG-SC5-122L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	地域社会学特講	LG-SC5-123L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	都市社会学特講	LG-SC5-124L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	臨床社会学特講	LG-SC5-125L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	家族社会学特講	LG-SC5-126L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	歴史社会学特講	LG-SC5-127L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	ジェンダー・セクシュアリティ特講	LG-SC5-128L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	現代社会学特講	LG-SC5-129L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	文献講読特講A	LG-AD5-101L	2	1・2	選択必修		◎	○	
	文献講読特講B	LG-AD5-102L	2	1・2	選択必修		◎	○	

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 社会情報学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 社会情報学:社会情報学についての研究能力および豊かな学識を背景に、社会情報に関連する諸問題を解決できる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 社会情報学:グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる社会情報学の知的教養を有し、社会情報とその関連する領域を広く豊かに認識できる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 社会情報学:社会情報学の研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 社会情報学:社会情報学の研究成果を、学会等での発表・著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。
専攻設置科目	社会心理学特講 A	LG-SY5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	社会心理学特講 B	LG-SY5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	社会心理学演習 A	LG-SY5-103S	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	社会心理学演習 B	LG-SY5-104S	2	1・2	選択	◎	○	◎	○
	文化社会学特講 A	LG-SC5-301L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	文化社会学特講 B	LG-SC5-302L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	文化社会学演習 A	LG-SC5-303S	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	文化社会学演習 B	LG-SC5-304S	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	メディア・コミュニケーション論特講 A	LG-ME5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	メディア・コミュニケーション論特講 B	LG-ME5-102L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	メディア・コミュニケーション論演習 A	LG-ME5-103S	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	メディア・コミュニケーション論演習 B	LG-ME5-104S	2	1・2	選択	○	○	◎	◎
	社会情報学基礎理論特講 A	LG-SI5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	社会情報学基礎理論特講 B	LG-SI5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	社会情報学調査法演習 A	LG-SI5-103S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	社会情報学調査法演習 B	LG-SI5-104S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	図書館情報学特講 A	LG-LI5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	図書館情報学特講 B	LG-LI5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	図書館情報学演習 A	LG-LI5-103S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	図書館情報学演習 B	LG-LI5-104S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	情報システム学特講 A	LG-IM5-101L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	情報システム学特講 B	LG-IM5-102L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	情報システム学演習 A	LG-IM5-103S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	情報システム学演習 B	LG-IM5-104S	2	1・2	選択	◎	○	○	◎
	コミュニケーション論特講 A	LG-CS5-101L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	コミュニケーション論特講 B	LG-CS5-102L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	メディア論特講 A	LG-ME5-105L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	メディア論特講 B	LG-ME5-106L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	情報科学特講 A	LG-IM5-105L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	情報科学特講 B	LG-IM5-106L	2	1・2	選択	◎	◎	○	○
	記録管理学特講 A	LG-LI5-105L	2	1・2	選択	○	◎	◎	○
	記録管理学特講 B	LG-LI5-106L	2	1・2	選択	○	◎	◎	◎

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 教育学専攻

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリング コード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 教育学:教育学および関連する学問領域を踏まえて研究対象・方法を適切に設定したうえで分析・考察することができ、教育に関する実務においても実践することができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 教育学:教育学だけでなく関連する学問領域にも目を配り、幅広い視野から教育に関する諸課題の構造や問題点について認識することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 教育学:教育学における規範的アプローチ、実証的アプローチ、実践的アプローチの違いを踏まえ、適切な学問的手法を用いて研究を遂行することができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 教育学:研究成果を学会発表あるいは論文などによって発信するとともに、教育に関する実務においても展開することができる。
専攻設置科目	教育哲学特講	LG-ED5-101L	2	1・2	選択		◎	○	
	教育哲学演習	LG-ED5-102S	2	1・2	選択		◎	○	
	教育思想史特講Ⅰ	LG-ED5-103L	2	1・2	選択		◎	○	
	教育思想史特講Ⅱ	LG-ED5-104L	2	1・2	選択		◎	○	
	教育史特講	LG-ED5-105L	2	1・2	選択		◎	○	
	教育史演習	LG-ED5-106S	2	1・2	選択		◎	○	
	教育方法学特講	LG-EM5-101L	2	1・2	選択	◎			○
	教育方法学演習	LG-EM5-102S	2	1・2	選択	◎			○
	教育行政学特講	LG-ED5-107L	2	1・2	選択	◎			○
	教育行政学演習	LG-ED5-108S	2	1・2	選択	◎			○
	学校教育学特講Ⅰ	LG-SE5-101L	2	1・2	選択	◎			○
	学校教育学特講Ⅱ	LG-SE5-102L	2	1・2	選択	◎			○
	教育社会学特講	LG-ED5-109L	2	1・2	選択		◎	○	
	教育社会学演習	LG-ED5-110S	2	1・2	選択		◎	○	
	生涯学習論特講	LG-LL5-101L	2	1・2	選択	◎			○
	生涯学習論演習	LG-LL5-102S	2	1・2	選択	◎			○
	教育調査法特講Ⅰ	LG-ED5-111L	2	1・2	選択	◎			○
	教育調査法特講Ⅱ	LG-ED5-112L	2	1・2	選択	◎			○
	教育学研究特講Ⅰ	LG-ED5-113L	2	1・2	選択	○		◎	
	教育学研究特講Ⅱ	LG-ED5-114L	2	1・2	選択	○		◎	
	教育学総合演習A	LG-ED5-115S	2	1	必修		◎	○	
	教育学総合演習B	LG-ED5-116S	2	1	必修		◎	○	

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 心理学専攻心理学コース

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 心理学コース：最先端の研究方法を学び、研究場面で実際に運用することができる。	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野とその関連する領域を広く豊かに認識できる。 心理学コース：心理学のみならず関連する学問領域において幅広い知識を有し、研究結果を多角的に論じることができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 心理学コース：先行研究に基づいて仮説を設定し、科学的な手法を用いて得られたデータを基に統計学的手法によって仮説を検証し、新たな問題設定に繋げることができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 心理学コース；研究成果を国内外の学会等で発表した上で、論文として提示することができる。
必修科目	心理学基礎理論	LG-PY5-118L	2	1	必修	○	◎	○	○
選択必修科目	臨床神経心理学特講Ⅰ	LG-CY5-101L	2	1・2	選択必修	○	◎		
	臨床神経心理学特講Ⅱ	LG-CY5-102L	2	1・2	選択必修	○	◎		
	臨床神経心理学演習Ⅰ	LG-CY5-103S	2	1・2	選択必修	◎	◎		
	臨床神経心理学演習Ⅱ	LG-CY5-104S	2	1・2	選択必修	◎	◎		
	認知心理学特講Ⅰ	LG-PY5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	認知心理学特講Ⅱ	LG-PY5-102L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	認知心理学演習Ⅰ	LG-PY5-103S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	認知心理学演習Ⅱ	LG-PY5-104S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	文化・認知心理学特講Ⅰ	LG-PY5-105L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	文化・認知心理学特講Ⅱ	LG-PY5-106L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	文化・認知心理学演習Ⅰ	LG-PY5-107S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	文化・認知心理学演習Ⅱ	LG-PY5-108S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	生涯発達心理学特講Ⅰ	LG-DP5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	生涯発達心理学特講Ⅱ	LG-DP5-102L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	生涯発達心理学演習Ⅰ	LG-DP5-103S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	生涯発達心理学演習Ⅱ	LG-DP5-104S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	発達臨床心理学演習	LG-DP5-105S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	心理学情報処理演習	LG-PY5-111S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	社会病理学特講	LG-OP5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	心理学研究法特講	LG-PY5-112L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	ACADEMIC WRITING AND PRESENTATION SKILLS IN PSYCHOLOGY	LG-PY5-113L	2	1・2	選択必修	○	○	○	◎
	心理統計法特講	LG-PY5-114L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	学校カウンセリング演習（教育分野に関する理論と支援の展開）	LG-PY5-115S	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	COMMUNITY PSYCHOLOGY	LG-PY5-116L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	犯罪心理学特講（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	LG-PY5-117L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	神経心理学特講（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	LG-CY5-105L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	障害児心理学特講（福祉分野に関する理論と支援の展開）	LG-CY5-106L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	LG-CY5-119L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	LG-CY5-120L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	心理的アセスメントに関する理論と実践	LG-CY5-121L	2	1・2	選択必修	◎		◎	◎
	心の健康教育に関する理論と実践	LG-CY5-122L	2	1・2	選択必修	◎	○		◎
	心理支援に関する理論と実践	LG-CY5-123L	2	1・2	選択必修	◎	○	○	○
自由選択科目	心理実践実習①	LG-CY5-124L	1	1	選択	◎	○	○	○
	心理実践実習②	LG-CY5-125L	2	2	選択	◎	○	○	○

カリキュラムマップ

文学研究科博士前期課程 心理学専攻臨床心理学コース

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各科目が、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と関連するのか、学習成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

区分	科目名	ナンバリングコード	単位数	配当年次	必修/選択	◎最も強く関連、○強く関連、△やや関連			
						DP1 「実践力」 研究能力および広く豊かな学識を背景に、自己の専門分野や実社会における問題を解決できる。 臨床心理学コース：心理学の科学的研究方法を学んだ上で、臨床心理学のテーマ設定ができ、それに相応しい研究方法を選択し運用することができる。加えて、臨床場面では公認心理師・臨床心理士に相応しい心理支援の専門職としての基本的な技能を発揮することがで	DP2 「知的教養」 グローバル化、高度情報化が進行する国際社会と地域社会に貢献できる知的教養を有し、さらに、日本および海外の文化を学ぶことで、自己の専門分野と関連する領域を広く豊かに認識できる。 臨床心理学コース:心理学・臨床心理学全般のさまざまな知識を有するだけでなく、人間の心理的な営みについての幅広い教養を備え、研究と臨床の両面に活用することができる。	DP3 「論理構築力」 研究対象と真摯に向き合い、そこから論理を構築し、その結果出てくる自己の考えや高度な理論を正確に論述し説明することができる。 臨床心理学コース：事例研究や質的研究を含む幅広い先行研究に基づいて問題を設定し、科学的な手法を用いて得られたデータを客観性を担保しながら分析し、新たな問題設定に繋げることができる。	DP4 「発信力」 自己の研究成果を学会等での発表、著書や論文を通じて積極的に発信し、世に広く問うていくことができる。 臨床心理学コース：研究成果を国内外の学会等で発表した上で、論文として提示することが出来る。臨床事例の経過とアセスメントを過不足無く要約し、事例検討会で発表することができる。
必修科目	心理学基礎理論	LG-PY5-118L	2	1	必修	○	◎	○	○
	臨床心理学特論Ⅰ	LG-CY5-107L	2	1・2	必修	◎	◎		
	臨床心理学特論Ⅱ	LG-CY5-108L	2	1・2	必修	◎	◎		
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	LG-CY5-109L	2	1・2	必修	◎	○		
	臨床心理面接特論Ⅱ	LG-CY5-110L	2	1・2	必修	◎	○		
	臨床心理査定演習Ⅰ	LG-CY5-111S	2	1・2	必修	◎	○		
	臨床心理査定演習Ⅱ	LG-CY5-112S	2	1・2	必修	◎	○		
	臨床心理基礎実習Ⅰ	LG-CY5-113L	1	1	必修	◎	○		
	臨床心理基礎実習Ⅱ	LG-CY5-114L	1	1	必修	◎	○		
	臨床心理実習A（心理実践実習③）	LG-CY5-115L	2	2	必修	◎	○		◎
	臨床心理実習B	LG-CY5-116L	2	2	必修	◎	○	◎	◎
選択必修科目	心理学研究法特講	LG-PY5-112L	2	1・2	選択必修	◎		◎	
	ACADEMIC WRITING AND PRESENTATION SKILLS IN PSYCHOLOGY	LG-PY5-113L	2	1・2	選択必修	◎			◎
	心理統計法特講	LG-PY5-114L	2	1・2	選択必修	◎		◎	
	臨床神経心理学特講Ⅰ	LG-CY5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	文化・認知心理学特講Ⅰ	LG-PY5-105L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	認知心理学特講Ⅰ	LG-PY5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	生涯発達心理学特講Ⅰ	LG-DP5-101L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	学校カウンセリング演習（教育分野に関する理論と支援の展開）	LG-PY5-115S	2	1・2	選択必修	◎		◎	
	COMMUNITY PSYCHOLOGY	LG-PY5-116L	2	1・2	選択必修	◎	○		◎
	犯罪心理学特講（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	LG-PY5-117L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	神経心理学特講（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	LG-CY5-105L	2	1・2	選択必修	◎		◎	
	障害児心理学特講（福祉分野に関する理論と支援の展開）	LG-CY5-106L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	心理療法特講	LG-CY5-117L	2	1・2	選択必修	◎	○		
	臨床心理地域援助特講	LG-CY5-118L	2	1・2	選択必修	◎	○		
自由選択科目	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	LG-CY5-119L	2	1・2	選択	◎	○		
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	LG-CY5-120L	2	1・2	選択	◎	○		
	心理的アセスメントに関する理論と実践	LG-CY5-121L	2	1・2	選択	◎		◎	◎
	心の健康教育に関する理論と実践	LG-CY5-122L	2	1・2	選択	◎	○		◎
	心理実践実習①	LG-CY5-124L	1	1	選択	◎	○		◎